

有限会社木下建設工業 知的資産経営報告書



安全第一
SAFETY FIRST

目次

あいさつ

専務あいさつ . . . 3

経営理念 . . . 4

会社概要

会社概要 . . . 5~6

沿革

有限会社木下建設工業
の沿革 . . . 7~8

知的資産

工事 (技術資産) . . . 9~18

スタッフ (人的資産) . . . 19~20

保有資格 (知的資産) . . . 21~22

所有物 (保有資産) . . . 23

ネットワーク (関係資産) . . . 24~27

将来ビジョン

現在の価値創造ストーリー . . . 28

取り巻く環境(外部環境) . . . 29

将来の価値創造ストーリー . . . 30

将来ビジョン(今後の取組内容) . . . 31

知的資産経営報告書について . . . 32

専務あいさつ

有限会社木下建設工業の木下英之です。

当社は土木建築業として、地域の安心・安全の確保をモットーに日々の業務を頑張っています。

私たちの仕事は、いわゆる「3K」と呼ばれる仕事です。「きつい・汚い・危険」な業務内容のため、今の若者が選ばない職業の1つかもしれません。

しかし、地域のインフラを整備し維持管理していく大事な仕事です。

規模に違いはありますが、地図に載る仕事です。

そして、その地域の住民生活をより快適に、そして安全にできる、どんな時代でも無くてはならない魅力のある仕事だと思っています。

道路や河川・橋梁・上下水道・公園・宅地など幅広い分野で培ってきた技術を活かし、地域社会への発展に貢献したいと考えております。



経営理念

「地球にやさしい」会社を目指して

- ・地域と向き合い、培った技術を活用し、住民に満足していただけるものづくりを行います。
- ・自分たちにできることから一歩ずつ、地球環境問題に取り組みます。
- ・仕事を通じて関わる人々に、誠実に対応いたします。

会社概要

会社概要

- 【代表者】木下 正日出
- 【住所】佐賀県三養基郡みやき町原古賀1771-3
- 【電話番号】0942-94-2460
- 【事業内容】土木工事業
- 【従業員】2名

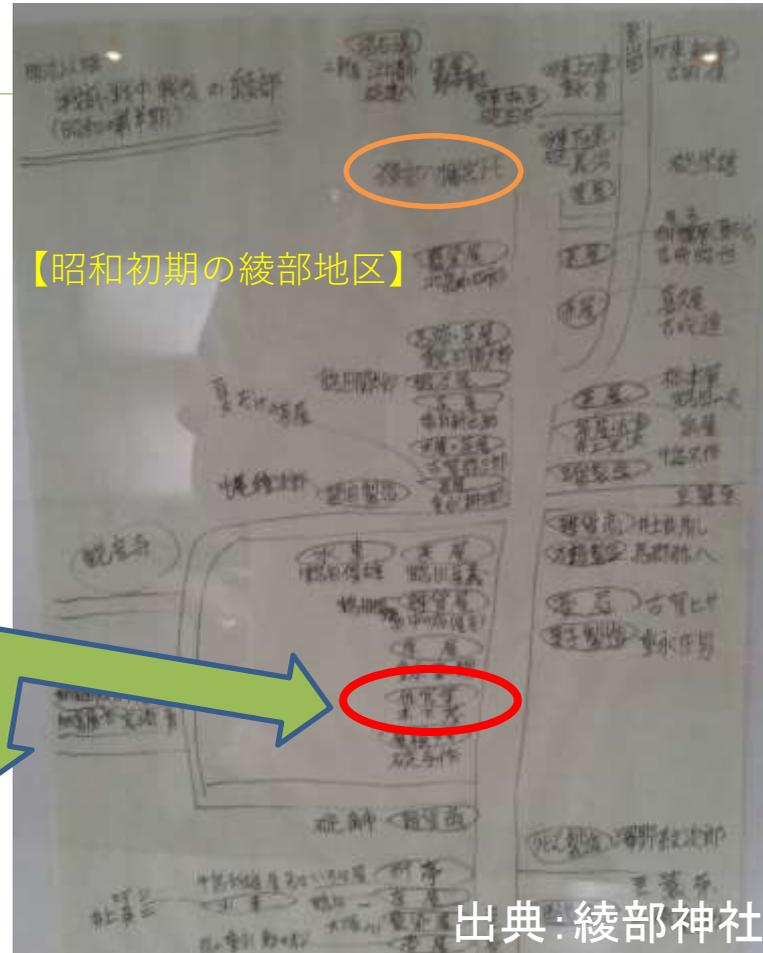


事業概要

- ・当社は、主に土木工事（道路整備、造成、河川、災害復旧）を手掛けております。
- ・現在は、公共工事が多数を占めています。



周辺地図



昭和初期には、2代目木下茂が、
同地で左官業を営んでいました。

出典：綾部神社

有限会社木下建設工業の沿革

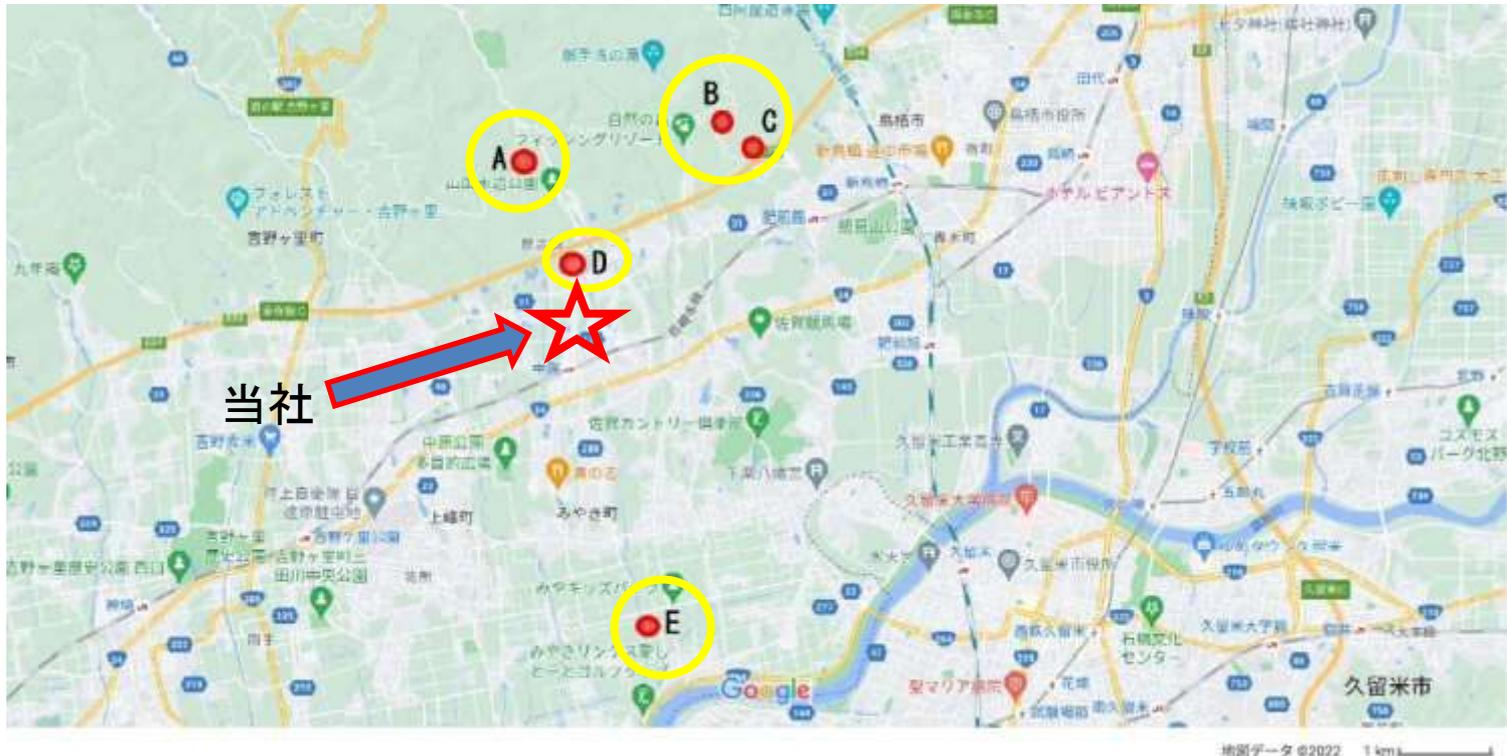
年代	出来事	トピック
大正期	初代(現社長の曾祖父)が、みやき町で左官業を開始。	<p>○大正元年 中原尋常高等小学校(現、中原小学校)第3校舎建築工事</p> <p>○大正3年 東京駅竣工</p> <p>○大正9年 県立佐賀中学三養基分校(現、三養基高校)の開校</p> <p>○昭和25年 佐賀県庁竣工</p> <p>○昭和33年 東京タワー竣工</p> <p>○昭和56年 中原町営住宅(現、北浦団地)の落成入居</p>
昭和初期	2代目木下茂が、事業を引継ぎ、引き続き左官業を行う。	
戦後	3代目木下正義が、事業を引継ぎ、引き続き左官業を行う。	
昭和62年	4代目木下正日出(現社長)が、土木工事業を開始。	
平成元年	有限会社木下建設工業に法人化。	

有限会社木下建設工業の沿革

年代	出来事	トピック
平成15年	木下英之専務、他社で約4年の修行を経て当社に入社。 専務、中原町商工会青年部に入部(現みやき町商工会青年部副部長)。	<ul style="list-style-type: none"> ○平成17年 中原町・北茂安町・三根町の3町商工会が合併し、みやき町商工会としてスタート ○平成23年 JR新鳥栖駅開業 ○平成24年 東京スカイツリー完成 ○平成29年 みやき町庁舎・防災センター竣工 ○令和4年 西九州新幹線開通
平成21年	C級からB級にランクアップ。 1,000万円以上3,000万円未満の公共工事の参入が可能となった。	
平成24年	省エネルギーや省資源等の環境経営に取り組むために、環境経営レポートを作成し、エコアクション21(環境省)を取得。	
令和3年	事務所を現在地に移転。 (みやき町原古賀2375 → みやき町原古賀1771-3 へ)	
令和4年	知的資産経営報告書を作成。	

工事（技術資産） 施工地図（A～E）

主に、佐賀県東部を中心に施工しています。



工事（技術資産）A

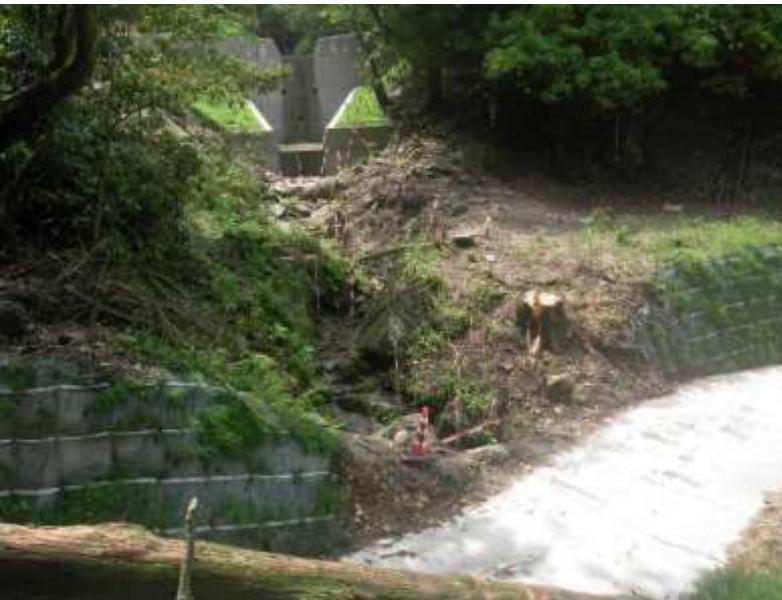


- ・施工内容
治山工事
- ・場所
みやき町鷹取山登山道
- ・施工期間
平成28年3月25日～9月15日

豪雨による土砂災害によって崩落の危険が高まっていたため、県からの要請により当社が復旧工事を実施することになりました。

工事（技術資産）A

【当社工事中】



重機を使った大掛かりで長期間の工事となりました。

工事（技術資産）A



【当社工事後】

この工事により、土砂災害を未然に防ぐことができ、安心して登山道や水辺公園を利用できるようになりました。

更に、地元住民の安全性も高めることができました。

工事（技術資産）B



- ・施工内容
災害復旧工事
- ・場所
鳥栖林道
- ・施工期間
令和元年10月11日～
令和2年8月7日

最近の複数の土砂災害によって、崩落の危険が高まっていたため、県からの要請により当社が復旧工事を実施することになりました。

工事（技術資産）B

【当社工事中】



損壊した古い土留めを撤去して、当社が再度復旧しました。このままでは重機が入れないので、土砂を掘り起こして道を作りながら作業をしました。

工事（技術資産）B



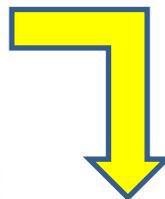
【当社工事後】

この工事により、土砂災害を未然に防ぐために、土留めをリニューアルしました。

土留め

土留めとは、法面や崖、盛り土などの崩壊を防ぐため、コンクリートブロックや石、現場打ちなどで土を留めることです。

工事（技術資産）C

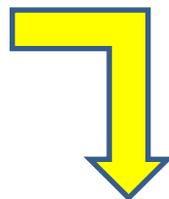


【当社工事後】



- ・施工内容：災害復旧工事
- ・場所：鳥栖林道
- ・施工期間：令和元年10月11日～
令和2年8月7日

工事（技術資産）D



【当社工事後】



施工内容：舗装工事

場所：みやき町北部地域

観光地整備工事

施工期間：令和2年10月7日～

令和3年3月25日

工事（技術資産）E



施工内容：堤防補強工事

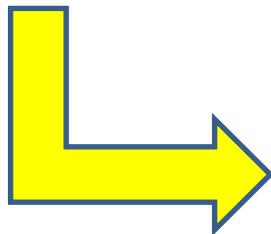
場所：みやき町寒水川

施工期間：令和2年8月28日～

令和3年2月13日



【当社工事後】



（人的資産） 社内スタッフ(現場)



・長年の労働災害防止活動が評価され、表彰されました。



左から
木下取締役、ベテラン従業員、専務甥っ子、木下専務(後継者)です。

（人的資産） 社内スタッフ(事務所)

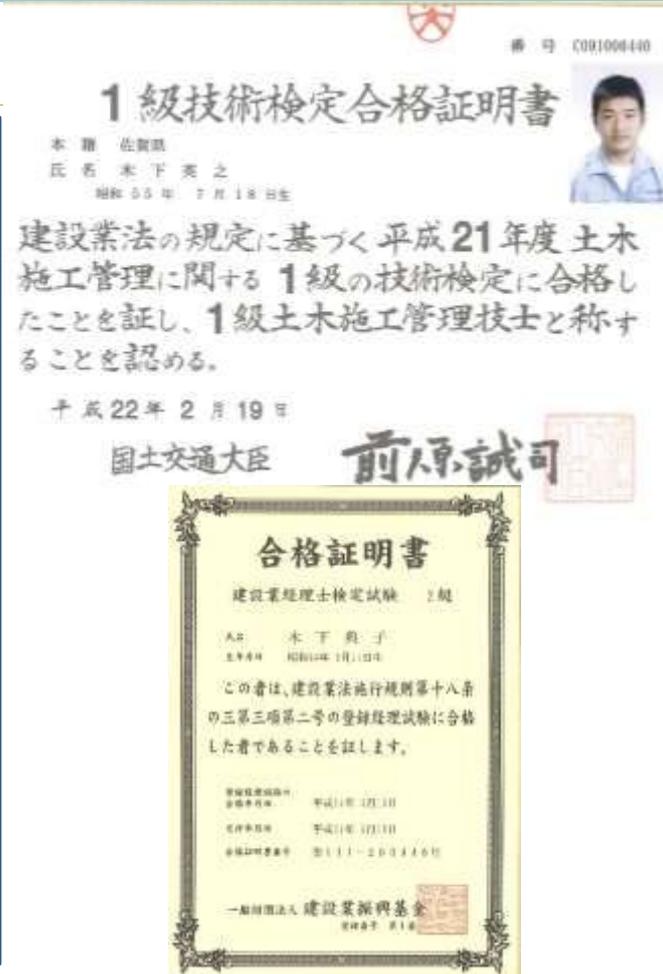


当社の縁の下の力持ちとして、経理等を日々頑張っています。

保有資格一覧(知的資産)

スタッフが必要な資格を取得しています。

- ・建設業許可
（土工事、とび・土木、コンクリート工事）
- ・1・2級土木施工管理技士
- ・1級舗装施工管理技士
- ・2級管工事施工管理技士
- ・浄化槽設備士免状
- ・産業廃棄物収集運搬業許可証
- ・中型車免許
- ・建設業経理士検定(建設簿記)2級
- ・建設業経理事務士4級



（知的資産）



エコアクション21の取得

・平成24年、省エネルギーや省資源等の環境経営に取り組むために、エコアクション21を取得しました。

・エコアクション21とは、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。

一般に、「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。

（保有資産）

建機を3台所有しています。



（関係資産）

地域への貢献

毎年恒例「子どもみこし」の神輿は、
当社の倉庫で保管しています。



神輿

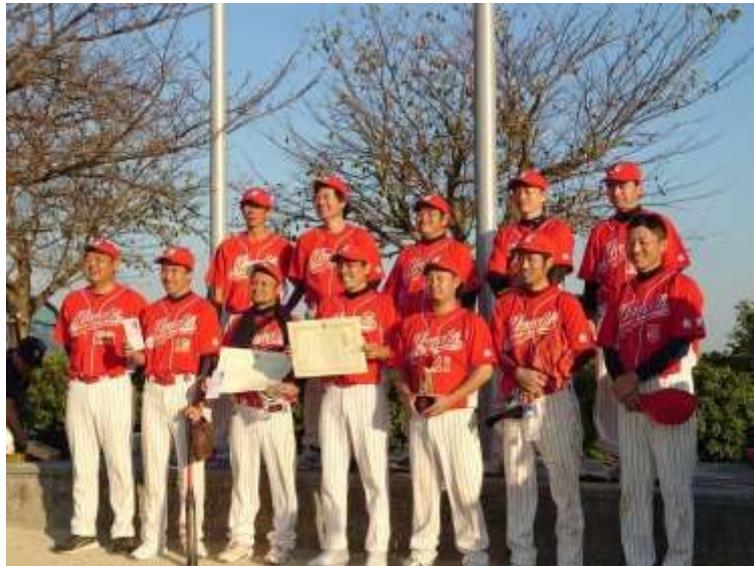


当社倉庫

（関係資産） 外部との関係

みやき町商工会青年部での活動

ソフトボール大会



若い経営者の主張大会



19年間青年部活動に参加し、町内外の事業者と関係を築いています。

（関係資産） 外部との関係

特定非営利活動法人J-Styleでの活動



地元中原の仲間たちと18年間、中原庁舎のライトアップ（光のミラージュ）等を通じて地域に貢献しています。

（関係資産） 外部との関係（水田建設株式会社）



水田社長は、地元中原で大工（建築・不動産業）をされている事業者さんです。約19年前に商工会青年部の活動を通じて出会いました。J-Styleの代表として地域活動に熱心で人望が厚く、後輩の面倒見の良い人で、私自身もお世話になっています。

仕事上も、水田社長から民間事業（造成・外構工事）を依頼いただき、私（専務）の自宅を建てていただくほど親密な関係です。

現在の価値創造ストーリー

理念・ビジョン

方針

取り組み活動

仕組み仕掛け

GOODな製品・サービス

顧客へお届けしている価値

顧客から頂いている価値

地球にやさしい」会社を目指して

地球環境に配慮した工事を実施します

公共工事（下水、河川、道路、
治山工事）

（民間工事
造成）

3人1組のチーム制、必要十分な設備
（トラック・建設機械・倉庫）

適正な納期・品質で工事を実施する

（入札基準に応じて）適正な納期・品質・予算
で工事を実施する、エンドユーザーに対して安全
性を提供している

仕事や工事代金をいただいている
社会貢献の機会をいただいている

取り巻く環境（外部環境）

木下建設工業を取り巻く環境（外部環境）

2020年度の出来高は、総計が52兆3,783億円、民間29兆3,784億円、公共が22兆9,999億円でした。



バブル経済がピークを迎えた1991年、出来高の総計（年計）は86兆3,860億円、民間が発注した工事の出来高が58兆7,950億円、公共工事の出来高が27兆5,910億円と最大になりました。

バブル崩壊とともに建設投資は縮小し、2011年にはリーマンショックによる景気の悪化により、42兆0,752億円まで減少しました。

その後、2019年には53兆3,926億円にまで及んでいますが、20年になって再び減少に転じました。

※出来高とは、工事の仕上がりに応じて支払われる代金のことで、建設会社にとっては工事の売上げに当たる。

【出典：建設総合統計（国土交通省）】

将来の価値創造ストーリー

理念・ビジョン

方針

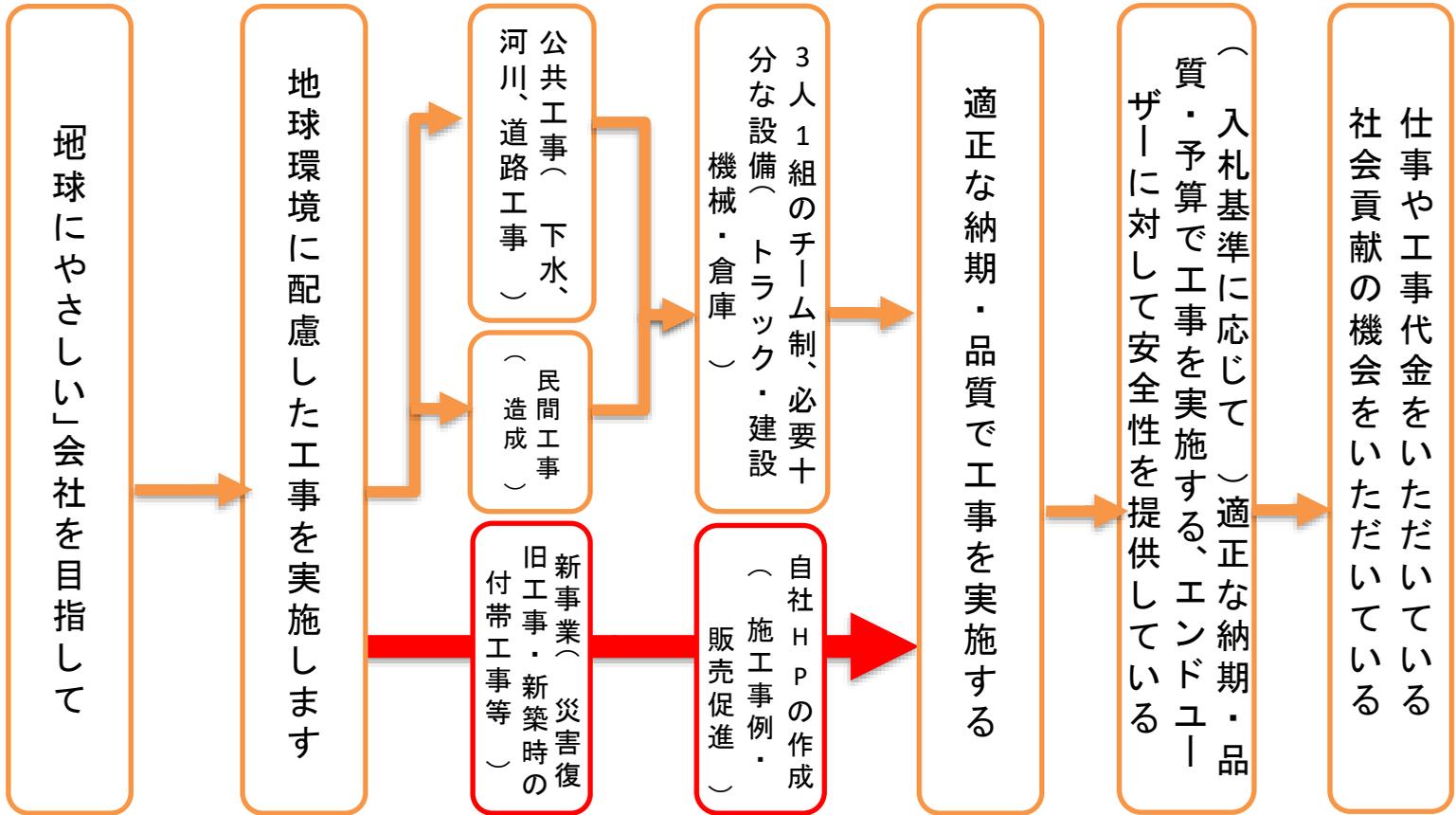
取り組み活動

仕組み仕掛け

GOODな製品・サービス

顧客へお届けしている価値

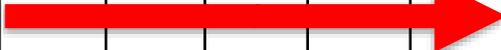
顧客から頂いている価値



将来ビジョン(今後の取組み内容)

当社は、2年後に事業承継を実施する予定です。
それに伴い、今以上にネットワークを拡大することに尽力していきます。

事業承継後は、新事業(災害復旧工事や新築時の付帯工事、当社からの企画・提案)を展開し、これらの施工事例をSNSで発信し、集客に努めて参ります。

	取組み内容	具体的な取組み	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
1	事業承継	・よかとこ活用経営に参加し、知的資産経営報告書を作成 ・2年後に事業承継を予定					
2	ネットワークづくり	商工会青年部全国大会に参加し、同業者以外にも広げる					
3	SNSの活用	HP、Instagramを開設し、施工実績を掲載する					
4	新事業への展開	・災害復旧・新築時の付帯工事 ・当社からの企画・提案 (みやき町、佐賀県、民間事業者へと対象を拡大していく)					

知的資産経営報告書について

【知的資産とは】

「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。

「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。

経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠して作成しております。

【知的資産経営報告書とは】

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに附帯する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて記載しております。

そのため、将来に亘り当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。

よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、ご了承願います。

【作成支援専門家・支援機関】

本知的資産経営報告書に記載された内容の客観性を保つために、以下の専門家と支援機関の支援を得て作成しました。

工藤 芳純（中小企業診断士 佐賀県中小企業診断協会）

横尾 英伸・安達 力也（佐賀東信用組合） 都合 義秀（みやき町商工会）